

☆★矢野目小学校教育目標 ☆★ 互いを大切にし、笑顔で協働する子ども

令和6年度矢野目小学校 学校だより

みんなの広場 2

笑顔があふれ、明日もまた 来たくなる学校

2024.5.7 発行 No.14 文責 目黒 満

☆☆自ら学び、深く考えて行動する子ども☆☆心と体を鍛え、命を大切に子ども

今日は、4連休明けの久しぶりの学校でした。憂鬱な表情や落ち着きのない児童、体調不良や保健室休養、ベッドでの爆睡等の児童がいました。この一ヶ月、新しい環境への適応のがんばりや連休の活動の疲れが出ていたりする児童もいるようです。お忙しい中ですが、お子さんに寄り添い、お話をしっかりと聞いてあげてください。

生活リズムの乱れについてもチェックし、早寝・早起き・朝ごはんのリセットを!

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

「ネット依存」にしない子育てを！ 予防と対策③

ネット依存になる前にできること

～デジタル社会に生きるわたしたち～
大人も子どももネットをかしこく使いましょう

1 フィルタリング

フィルタリングとは、違法・有害情報から守り、安全にインターネットを利用する手助けをするサービスです。スマホ等の利用者が18歳未満の場合は、フィルタリングの設定が法律で義務化されています。保護者のスマホやタブレットを使わせることがある場合も、フィルタリングの設定が必要です。

普段使っているスマホに、フィルタリングをかけてしまうと、自分が使うときに困るので…。(設定が面倒!!)

子どもに貸すときだけ「小学生モード(対象:小学生以下)」にすればOK!
携帯電話会社の相談窓口や店頭・公式サイトなどで、利用申請して初期設定を行うか、アプリストアから使い方に合うものを購入しましょう。

2 親のかかわり

- ストレスとの付き合い方を教える。
- 子どもが夢中になれるものを見つける。
- 家族のイベントなど、ネット以外の活動を増やす。
- 健康的な生活を習慣づける。
- 親の依存度も認識し、ネット依存への問題意識を高める
- SNSの正しい使い方などを学び、子どもに教える。
- 子どもの話をよく聴き、ネット利用の問題を一緒に考える。

家庭での一場面

子:スマホゲームをしながら夕食を食べている。

親:家族で会話をしながら夕食を食べたい。

「食事の時ゲームをしていると、④お母さんは悲しいな。」
「今、ゲームをやめられないんだね。⑤どこまで進めたらゲームを終わりにできるかな。」
「ゲームのきりが悪くなるのは困るよね。⑥ご飯の時間を先におけばよかったね。⑦ゲームをする時間について、⑦後で一緒に考えようか。」

～ポジティブなコミュニケーションのポイント～
① 簡潔に
② ポジティブに
③ 具体的な行動に言及する
④ 自分の感情を素直に言葉にする
⑤ 思いやりのある発言をする
⑥ 部分的に責任を受け入れる
⑦ 支援を申し出る

わたしのことをわかってくれる

家族の時間を大切にしようね

3 家庭のルール作り

ネットを安全かつ適切に利用するためには、お子さんの年齢にあった手助けが必要です。お子さんの日常生活に見合ったネットの使い方を、各家庭で考えてみましょう。

重要なのは、お子さんが納得できるルールを決めることです。また、ルールを守れなかった時のための対応も話し合っておきましょう。

次のページを参考にしてください。

何についても言えることですが、「タイミング」が大切です。ネット依存も、なってしまってからでは手遅れです。回復や治療には、物理的・精神的な手間と苦勞、そして依存になるまでにかかった以上の時間が必要になります。依存になる前に対策をしておくことが予防には何より大切です。

小学生のお子さんに携帯やネット環境を預ける際には「フィルタリング」の設定が法律で義務化されています。フィルタリングに加えて、接続先や SNS 等の相手・利用状況等についての「親による毎日のチェック」は絶対的な必須事項です。

ネットの向こうにいるのは聖人君子ばかりではないことは、これまでの悲惨な事件から周知の事実です。悪意を持った大人による「なりすまし」等もネット上では日常茶飯で、

時には命に関わる事件に巻き込まれることもあります。大切なお子さんにネット環境を与える時には、日常の通信履歴・通信内容や画像の中身、また閲覧先の URL や機器の使用時間帯等について毎日、親としてチェックを徹底する覚悟と責任、そして家庭のルールがゼッタイに必要です。

お子さんの大切な人生を依存から、そして悪意を持った大人から守っていくのは親の責任です。